

図書館だより

第
8
号
2024

百人一首の世界

毎年1月上旬に、「小倉百人一首競技かるた」の名人位・クイーン位決定戦が、滋賀県の近江神宮で行われます。今年は1月6日に、名人位は川瀬将義名人、クイーン位は井上菜穂クイーンが日本一の称号を勝ち取りました。

「百人一首」は万葉の昔からの歌人たち100人の代表的な和歌を、平安～鎌倉時代に活躍した歌人・藤原定家が撰んだ、いわば「和歌のベスト100」。定家の別荘である小倉山荘にちなんで「小倉百人一首」として後世に伝えられることになりました。1235年5月27日に完成したとされることから、5月27日は「百人一首の日」になっています。

参考:『ちはやと覚える百人一首「ちはやふる』公式和歌ガイドブック』あんの秀子/著 末次由紀/漫画 講談社

START!

「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。物事を始めるには最初が肝心で、早めにきちんと計画をたてるのが良いという意味です。あなたの今年の計画はどんなものでしょうか。今月は「スタート!」をテーマに本を紹介します。

参考:『実用ことわざ新辞典 ポケット判』高橋書店編集部/編 高橋書店

『アルケミスト 夢を旅した少年』

パウロ・コエーリョ/著 山川紘矢・亜希子/訳 KADOKAWA B969 こ



スペインに住む羊飼いの少年・サンチャゴは、ピラミッドにあるという宝物を探すためにエジプトへの旅をスタートします。様々な人に出会い、助言をもらったり、泥棒にあったりと波乱万丈な旅の中で、少年は多くを学び、人生について考えます。そして最後に出会ったのがアルケミスト=錬金術師でした。さて、少年が探す宝物はどこに？

『和菓子のアン』

坂木司/著 光文社 B913 さ



高校を卒業して、就職先が決まっていない梅本杏子は、たまたま通りがかったデパ地下の和菓子店みつ屋でアルバイトを始めます。和菓子については知らないことばかりの杏子は、個性的な店長や同僚に囲まれながら、和菓子の歴史や魅力を学びます。本書は五つの話からなり、和菓子の奥深さを感じられます。

こちらもおすすめ

『一度死んだ僕の、車いす世界一周』
三代達也/著 光文社

290 み

#ひとり旅 #270 日間

『正しい目玉焼きの作り方』
森下えみこ/イラスト 每田祥子
ほか/監修 河出書房新社

590 た

#基本のキ #自分でやる

『はじまりの日』
ボブ・ディラン/作 ポール・ロジャース/絵 アーサー・ビナード/訳
岩崎書店 E931 て

#詩 #ノーベル文学賞

【督促について】

本の返却が遅れた人には、毎月督促状を発行しています。

あなたが返し忘れている本は、ほかのだれかの読みたい本でもあります。必ず返却に来てください。

冬休み特別貸出で借りた本は、1月13日(土)が返却期限日です。



1月の開館日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
昼休み						
放課後						
8	9	10	11	12	13	
昼休み	×	○	○	○	-	
放課後	×	×	○	○	○	
15	16	17	18	19	20	
昼休み	○	○	○	○	○	
放課後	×	○	×	○	○	
22	23	24	25	26	27	
昼休み	○	○	○	○	○	
放課後	○	○	○	○	○	
29	30	31				
昼休み	○	○	○			
放課後	○	○	×			